



神奈川3区国政対策委員長 前県会議員

木佐木 ただまさ

日本共産党 見解を紹介します

いのちとくらし
守る政治をご一緒に

<プロフィール>

- 神奈川大学法学部卒
- 元法律事務所職員
- よこはま健康友の会 会長
- 横浜東民商顧問
- 弓道初段 1984年生まれ

子どもの学ぶ権利を保障するため、 先生のいのちと健康が守られる働き方を！

教員の多忙化、長時間労働が社会問題になっています。学校の先生に、過労死するような働き方をさせては、子どもたちにまともな教育を保障できません。この問題の解決は急務です。

教員の変形労働時間制の導入

国が導入を進める公立教職員の「変形労働時間制」は、8月の夏休み期間などを「閑散期」とみなして休日を増やすかわりに、学期中を「繁忙期」として、閑散期に増えた休日分を労働時間に付け足すというものです。

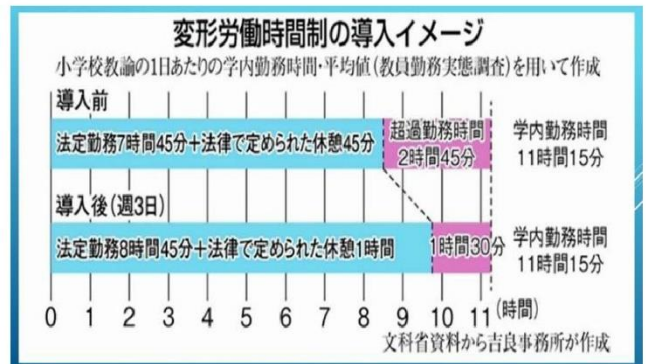
長時間労働の縮減にならない 過労死が増えてしまう恐れも

当然、これでは教員の長時間労働の縮減につながりません。これまで1日8時間労働が「定時」だったものを繁忙期は10時間にのぼすというもので、閑散期に休日が増える確証もありません。教育関係者からは、「改革どころか、過労死を増やすことにつながる制度だ」と批判が噴出しています。

業務量の削減こそ本当の改革

真に教員の働き方改革を推進するのであれば、労働時間の管理が行われぬ「教職員給与特別措置法」を改善し、教員定数を増やして業務量を削減することが必須です。党県議団は、国に対して、制度導入をやめるよう県として求めるべきと主張しました。

県教育長は、「指摘されている課題を十分考慮し検討していく」と述べましたが、国に対して要望することは考えていないとの答弁でした。引き続き、問題の解決に向けて力を尽くします。



カジノ IR 市民説明会に参加して



IR カジノ 市民説明会に古谷市議（右）と参加

12月21日、林市長が自ら行う IR カジノの説明会が鶴見公会堂で開催され、私も参加しました。

林市長は、IR カジノと直接関係ない横浜の現状を長々と説明し、市民から出された「カジノ IR がうまくいく根拠は」などの質問には、個人的な願望や希望的観測を述べるだけで、数的根拠は全く示せませんでした。会場からは「そんなこともわからず誘致を決めたのか」「無責任だ」「市長やめろ」と怒りが噴出しました。カジノ誘致に道理がないことははっきりしています。誘致撤回へ力を尽くします。